

「最明寺滝～満願寺～北雲雀きずきの森を歩こう」案内

担当：1班

以前そら組で行ったことは有りますが、今回も近場にこんな所が有ったのかと感じて頂くべく川西の裏座敷、裏山をハイキングする企画を、改めてご案内致します。



最明寺滝

1. 実施日：令和4年9月9日（金）
2. 集合場所：阪急宝塚線山本駅（改札を出て左へ、階段を右へ登った所の広場）
3. 集合時間：9時50分 出発10時
（阪急梅田駅発宝塚行急行：梅田駅発9:03分・山本駅着9:35分着 or 9:13発9:46分着）
4. 行程：阪急山本駅（ストレッチ）⇒最明寺滝⇒（井植山荘前）⇒満願寺⇒（坂田金時の墓・四国88ヶ所巡り）⇒きずきの森（昼食・班長会の後は1時間程自由散策）⇒阪急川西能勢口駅（2時30分頃解散予定） ※JR川西池田駅へは、5分程で行けます。
5. 持参品：弁当、飲物、雨具、ハイキングスタイル、ストック、他に必要なら手袋、図鑑、双眼鏡等。
6. 出欠確認：各班長は8月末までに、1班の中村班長へ参加人数の連絡をお願いします。
7. 実施可否：前日17時気象庁発表予報で判断して連絡する。（40%以上の場合、中止の方向で検討）
8. 備考

- ① 経路途中車の通る住宅街を歩行します。・・・**大声は慎み静かに歩行。**
- ② トイレは両駅以外では「満願寺」と「きずきの森」に有ります。
- ③ 満願寺では施設管理費充当のため**一人百円**の寄進を求めています。綺麗なトイレも有り、設置されている箱に各自百円玉を投入して頂きたく、ご協力をお願いします。

・**最明寺滝**：北条時宗の父、時頼が出家し最明寺入道と名乗り、行脚の途次この滝に立寄り景観の素晴らしさに庵を建てたことが由来との事。信仰の滝で線香や蠟燭の煙が絶えない。

・**満願寺**：奈良時代、聖武天皇の命により勝道上人が創建したとの事。平安時代に清和源氏の祖といわれている満仲が深く帰依し、歴代源氏一族の勅願所として栄えた。境内には坂田金時（金太郎は幼名）の墓が有る。春はサクラ、秋はモミジが素晴らしいとのこと。

・**北雲雀きずきの森**：ゴルフ場や住宅建設用地として荒れていた土地を、2006年宝塚市が買収して里山として復元し、自然緑地の公園と制定して、2010年5月1日にオープンする。
以降地元のコミュニティによる森林保全活動により整備され、四季を通して野鳥観察を含む自然観察を楽しめる森となっている。

「みはらし広場」からは大阪平野が一望出来、生駒山系や葛城山・金剛山、又ハルカスなどが眺望出来ます。

「きずき」の由来は、自然の移り変わりを感じ学ぶ意味での「**気付き**」、自然に親しみ楽しむ意味の「**木好き**」、より良い里山や地域を作り上げる意味での「**築き**」、という大きなテーマからきているそうです。



満願寺の仁王門



坂田金時の墓